

第16回日本スポーツグランプリ 受賞者に聞きました！

長年にわたりスポーツ活動を実施されてきた受賞者の皆様。
日頃、どのようなことを心がけているか、スポーツをどのように捉えて
いらっしゃるのか等をお聞きしてみました！
回答を一部ではありますが、掲載します！！

油井 康さん バスケットボール

86歳 岩手県

1. スポーツを長く続ける秘訣は？

妻とバスケ、スキー、登山など、いつも二人で実行してきたこと。

2. スポーツとはどんな存在？

生きがい。スポーツの大きなまるの中に囲まれた人生であり、生活の大部分がスポーツと繋がっていた。

3. スポーツの魅力は？

人との出会いがあり、同じ思いを語り合う友人が増えること。



受賞者のサポーターの 声

1. 長年、受賞者を親身にサポートされてきて、思い出に残っていることは？

高校時代に「勝つ思いが強い方が勝つ」という訓示をいただいたこと。

2. 受賞者のここがすごい！と思うエピソードは？

バスケットボール以外にも登山、スキー、そば打ちなど多趣味であり、特にスキーでは、欧州や北米の著名なスキー場を奥さん同伴で毎年のように訪れている。

そのバイタリティがどこから生まれてくるのか計り知れない偉大な大先輩である。

3. 受賞者は、“スポーツがある生活”を実践されているが、その秘訣は？

誰とでもすぐに会話のできる人柄と雑学の知識が豊富なこと。
特にダジャレはピカイチです。



ゴールデン・ニア大会 2012年2月12日

16th Japan Sport Grand Prix

大谷津 節子さん バレーボール

86歳 栃木県

1. スポーツを長く続ける秘訣は？

スポーツを理解してくれる家族。仲間との良好なふれあい。
健康の維持・増進。

2. スポーツとはどんな存在？

“生きがい”

3. スポーツの魅力は？

人と人との交流・親睦が図れ、仲間づくりが出来ること。
競技後の爽快感・達成感・生活の充実感。



受賞者のサポーターの

声

1. 長年、受賞者を親身にサポートされてきて、思い出に残っていることは？

大谷津さんが83歳の時にバレーボールと併行して取り組んでいるグラウンド・ゴルフの大会でペアーを組み、プラチナ賞を達成し、5位入賞を果たしたこと。

2. 受賞者のここがすごい！と思うエピソードは？

集中力と勝負強さ。
大会になると必ず入賞し、大きな大会になるほど力を発揮する。

3. 受賞者は、“スポーツがある生活”を実践されているが、その秘訣は？

家族の理解、協力並びに他人に対しての面倒見が良いので誰にでも好かれて楽しくプレーしていること。



16th Japan Sport Grand Prix

山田 美都枝さん

水泳、なぎなた等

87歳 石川県

1. スポーツを長く続ける秘訣は？

スポーツが好きだから。

2. スポーツとはどんな存在？

相棒。

3. スポーツの魅力は？

スポーツをした後、体も心もスッキリする。リフレッシュできる。



受賞者のサポーターの 声

1. 長年、受賞者を親身にサポートされてきて、思い出に残っていることは？

秋のなぎなたの審査会に向けて夏に追い込みを行うが、稽古数を増やしても嫌がらず、我慢強くついてきてくれた。諦めず懸命に難しいことにも取り組む姿勢に感銘を受けた。

2. 受賞者のここがすごい！と思うエピソードは？

年齢を感じさせず、気持ちも身体も若いこと。
72歳から始めたなぎなた競技では自らすすんで参加し、積極的に取り組む姿勢。

3. 受賞者は、“スポーツがある生活”を実践されているが、その秘訣は？

仲間がいることと、本人の気持ち。やる気がなければ何をするにも中途半端になるが、本人の意思があるため行動も伴ってくると感じる。



16th Japan Sport Grand Prix

小林 優さん 陸上競技

16th Japan Sport Grand Prix

83歳 滋賀県

1. スポーツを長く続ける秘訣は？

心身の健康を保ち、取り組んでいるスポーツ（競技）を好きになること。
計画性をもった生活をして「何事も諦めず」の精神で、反面気楽さも持ち合わせていけば、挫折することはないと思う。

2. スポーツとはどんな存在？

生きがいであり、一生の宝物。
一生懸命取り組んだ努力の結果は、何事にも勝る達成感を味わえる。

3. スポーツの魅力は？

多くの友人ができ、互いに対等に尊重しあい、切磋琢磨できること。



1. 長年、受賞者を親身にサポートされてきて、思い出に残っていることは？

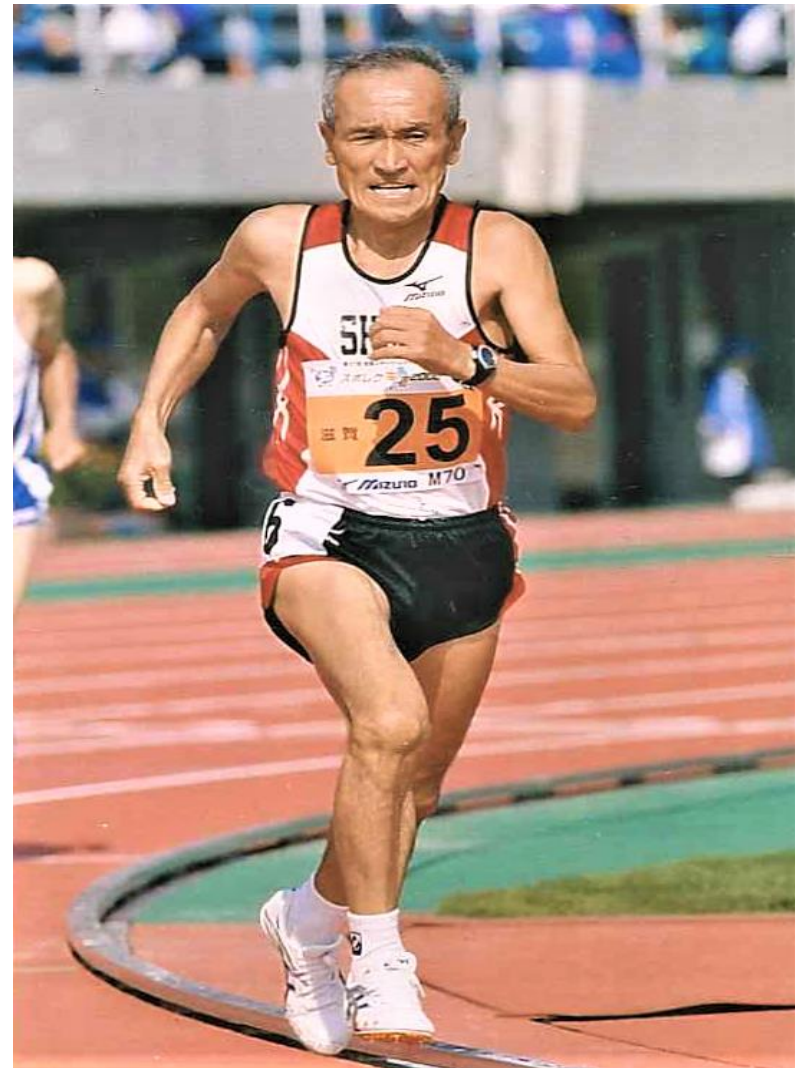
東近江元旦健康マラソン大会の第1回大会の優勝者であり、連続出場をしている小林さんが50回記念大会の時に、大会長を務める私に宣誓をしてくれたこと。

2. 受賞者のここがすごい！と思うエピソードは？

姉妹都市のアメリカミシガン州のマーケット市を訪問した6日間、毎朝1時間30分走られていた。毎日走ることを日課とし、他国の地でも変わらず実践を続ける行動。

3. 受賞者は、“スポーツがある生活”を実践されているが、その秘訣は？

本人がスポーツの良さと自身の身体を知り尽くしていて、計画どおりにやりとげる。何事にもくじけない、不屈の精神を持っている。



白石 勇一郎さん ラグビーフットボール

1. スポーツを長く続ける秘訣は？

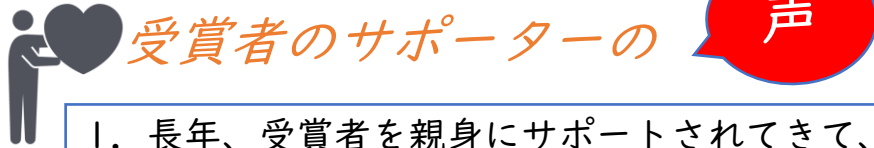
身体を大事にし、仲間とふれあうことができる。

2. スポーツとはどんな存在？

生涯ラグビー！

3. スポーツの魅力は？

仲間と年齢を問わず一緒にラグビーが出来ること。



受賞者のサポーターの

声

1. 長年、受賞者を親身にサポートされてきて、思い出に残っていることは？

試合後には、周りに常に人が集まり笑いが絶えないこと（空の酒瓶も多い）。

2. 受賞者のここがすごい！と思うエピソードは？

国際試合では必ずトライを決める。

ラグーパントは奥様の手作りで帯付きのオールドデザインのこだわり、赤、黄、紫のパントもすべて手作りである。

3. 受賞者は、“スポーツがある生活”を実践されているが、その秘訣は？

スポーツが大好きで、ラグビーを愛していること。

86歳 熊本県



16th Japan Sport Grand Prix

齋川 稔さん ボウリング

16th Japan Sport Grand Prix

85歳 茨城県

1. スポーツを長く続ける秘訣は？

毎日、4kmから5kmのウォーキングを実行して体づくりをする。
家族との話し合いなど。

2. スポーツとはどんな存在？

生きがいであり、体づくりには最高である。

3. スポーツの魅力は？

スポーツを通して多くの交友関係を築ける。年齢を問わず楽しむこと。



受賞者のサポーターの

声

1. 長年、受賞者を親身にサポートされてきて、思い出に残っていることは？

全国実業団ボウリング連盟（ABBF）主催の県大会（茨城県知事杯）決勝戦においてパーフェクトゲームを出したこと。（2015年11月8日）

2. 受賞者のここがすごい！と思うエピソードは？

センター大会やABBFの県大会には、ほぼ出場し上位入賞になること。
アベレージも200以上をキープしていること。

3. 受賞者は、“スポーツがある生活”を実践されているが、その秘訣は？

毎日4kmのウォーキングを欠かさず実行していること。



鈴木 昌子さん 陸上競技

16th Japan Sport Grand Prix

75歳 静岡県

1. スポーツを長く続ける秘訣は？

トレーニング仲間や競技会での仲間との交流。家族の理解と協力、夫がトレーニングの相手となりそばで支えてくれていること。

2. スポーツとはどんな存在？

生活の一部。

3. スポーツの魅力は？

スポーツの後、時には体中が痛く辛いこともありますが、そのことで鍛えられていると感じる。継続してこそ動ける体で記録を狙えること。



受賞者のサポーターの声

1. 長年、受賞者を親身にサポートされてきて、思い出に残っていることは？

2018年の世界ゴールドマスターズ奈良大会で29m03の記録を出し世界記録保持者に名前を刻んだこと。有言実行の人である。

2. 受賞者のここがすごい！と思うエピソードは？

練習中の転倒で複雑骨折をし、手術をして痛みを耐えながら懸命にリハビリを続けた。その努力と回復力を見た担当医から、「自身の認識を変えた」と言わしめたこと。

3. 受賞者は、“スポーツがある生活”を実践されているが、その秘訣は？

健康でいることと体力づくり。特に食事には気を遣い、栄養を考えて作り、それに合わせて筋力トレーニングも欠かさず継続している。



新貝 勝さん 水泳

16th Japan Sport Grand Prix

81歳 京都府

1. スポーツを長く続ける秘訣は？

体調の悪い時には休む。怠け心で休みたい時は一歩前に出て泳ぐようにする。

2. スポーツとはどんな存在？

練習は苦しいものでなく、明日の希望に繋がるもの。

3. スポーツの魅力は？

練習に嘘はなく、正直に結果が出ること。



受賞者のサポーターの

声

1. 長年、受賞者を親身にサポートされてきて、思い出に残っていることは？

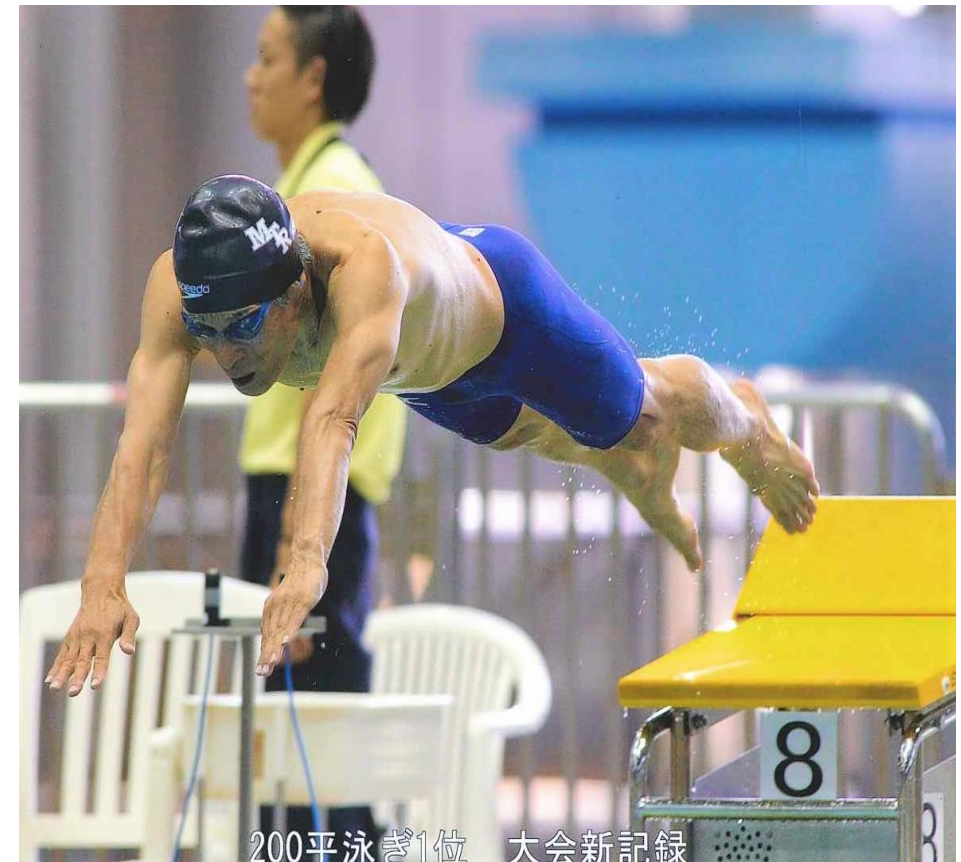
手首、大腿骨の骨折をして水泳から離れていた時にも病室のベッドにトレーニングチューブを設置し、Pullの強化を毎日されていたことは印象に残っている。

2. 受賞者のここがすごい！と思うエピソードは？

1年間のブランクの後、100mバタフライ、200m個人メドレーで世界記録を樹立したこと。また、医師から無理だと言われていた平泳ぎでもフォーム等を修正改善して100m、200mで世界記録を樹立したこと。

3. 受賞者は、“スポーツがある生活”を実践されているが、その秘訣は？

若さ、諦めない気持ち、興味を持ちやってみる行動力。
何よりも水泳（競泳）が好きなこと。



200平泳ぎ1位 大会新記録

本間 かほるさん スキー

16th Japan Sport Grand Prix

90歳 東京都

1. スポーツを長く続ける秘訣は？

練習が大事である。学生や社会人の若い人達と一緒に気軽に練習をできることが楽しいので怪我のないように頑張っていきたい。

2. スポーツとはどんな存在？

レースをやっている人は、みんな仲間だと思う。

3. スポーツの魅力は？

大会でゴールできた時の嬉しさは当然であるが、これは自分だけのものではなく応援や拍手をしてくれる人が喜びを共有してくれること。

受賞者のサポーターの 声

1. 長年、受賞者を親身にサポートされてきて、思い出に残っていることは？

世界マスターズ大会へ参戦の時、海外空港の入国審査時に全て日本語で受け答えをし通してもらえるのは、かほるさんだけなのでは！表彰式の際に「お姫様抱っこ」をさせていただいた時の笑顔がとにかく可愛かったことが思い出。

2. 受賞者のここがすごい！と思うエピソードは？

ご自身で車を運転してスキー場へ。若年層でも滑り降りてくるのが大変な大会コースをエッジを効かせて滑り降りてくること。世界中のマスターズスキーヤーがKaoru Hommaを知っていてリスペクトしていること。

3. 受賞者は、“スポーツがある生活”を実践されているが、その秘訣は？

仲間と喜びを分かち合う事を何よりも大事にしていること。

